



スーパー耐久シリーズ2011 第2戦

「SUPER TEC」

開催日：2011年7月23日・24日

コース：富士スピードウェイ

天候：（予選・決勝）晴れ・晴れ

路面コンディション：（予選）DRY （決勝）DRY

チーム：吉田山工房N京都Vitz

ドライバー： 岩谷 昇/ 山口 コーイチ/ 樺田祐司

吉田山工房 NetZ Kyoto AS Racing

ings

Kesel

Winmax

PETRONAS

BRIDE

ULB

ODYSSEY

KYO-EI

QUANTUM

depo Racing

BODY JOULE

ADVAN

JMC

Dakki

Magee

DIGITAL FIELD

GGT Group

ONDe

TPJ

TAKASAKI

車工舎 竹中屋

PEACE

スポーツランド SUGO で行われた開幕戦から約2か月。スーパー耐久シリーズの第2戦『SUPER TEC』が、富士スピードウェイで開催されました。7月22日(金)練習走行、23日(土)予選、24日(日)決勝と2DAYによるレースとなりました。

年々多くなるST-5クラスのエントリー台数ですが、AS Racingもこのライトウェイトクラスに注目しエントリーに踏み切りました。

今季初参戦。初戦となる吉田山工房N京都Vitzですが、3名のドライバーによるエントリー。ドライバー2名はスーパー耐久初参戦。普段はネッツカップヴィッツレース関西シリーズに参戦しているドライバーです。ワンメイク畑で育ったドライバー陣がどれだけの底力をS耐で発揮できるのか、チームとしても非常に楽しみなレースとなりました。



#### ■ 練習走行 7月22日

スポット参戦にて55号車吉田山工房N京都Vitzは富士スピードウェイ『スーパーテック』にてデビューいたしました。練習走行初日。ネッツカップ用にチューニングされていたマシンは新たに耐久仕様と仕上げられております。

練習走行は3本ありそれぞれのドライバーが感触を確かめるように走行を開始しました

3本目走行中、ミッションにトラブルが発生し急遽練習を中断。

予選に向けてのメカニックによる懸命なメンテナンスが開始され、当日中に解消されました。

吉田山工房 NetZ Kyoto AS Racing





■ 公式予選 7月23日



ST-5クラスは出走台数5台。内新規エントリーは55号車と19号車のフィットでした。  
 ライトウエイト・チューニング具合がほぼ同等のこのクラスではドライバーのスキルが問われます。  
 路面コンディションはドライ。Aドライバー岩谷選手より公式予選走行開始。  
 予選通過基準タイム2'23'779に対し2'13'369にて無難に通過。  
 Bドライバー山口選手出走。  
 予選通過基準タイム2'25'505に対し2'13.934と好タイムで難なく予選を通過。Bドライバーとして求められた以上の好タイムに決勝への期待が高まりました。  
 Cドライバー樺田選手出走。  
 安定した路面温度により、タイヤは決勝へ温存。タイヤを労りながらのタイムアタックとなりました。  
 結果2'15.189と2'26'479に対して無事予選を通過しました。岩谷選手はVWカップ等でライトウエイトでのレースに馴れがあり流石の走り。山口選手・樺田選手はS耐初参戦ながら落ち着いた走りを見せ、今後のレース展開が非常に期待される予選となりました。  
 よって走行台数37台中総合順位36位。  
 決勝出走台数37台中36番グリッドからの出走となりました。

◆予選総合タイム順位結果

- 1:CarNO.19 BRP☆HYPER ECU C72駆動屋FFC TIME: 4'21.856
- 2:CarNO.4 ミッドランドTSK Vitz TIME: 4'23.802
- 3:CarNO.230 WAKO'SアクレオクヤマVitz TIME: 4'23.979

4 : CarNO.55 吉田山工房N京都Vitz TIME : 4'27.303

ドライバー：岩谷 昇 TIME : 2'13.369  
 山口 コーイチ TIME : 2'13.934  
 樺田 祐司 TIME : 2'15.189





■ 決勝 7月24日



初日練習日でのメカニックの機転の効いたミッション交換が好をなして車のコンディションは良く、ドライバーに安心感をもたらしました。天候はいつ雨が降ってもおかしくない様な曇り空。天候を加味し、状況に合わせて使用できるようレインタイヤが用意されました。

雨さえ降らなければタイヤは無交換での作戦を決行。

12:59 スタートはAドライバー岩谷選手より。初戦とは思われないプッシュで進行していきます。決勝でのベストラップは2'14.017。46LAPを走行するもドライビングに疲れは一切見られず、好調なままBドライバー山口選手にバトンが渡されます。

天候ははまだ曇り。レース終盤に雨が降るかも知れないとの情報が入るものの、恐れなくプッシュを挑みます。4時間の長丁場における耐久レースではなにが起こるか予想できません。しかしながらチームは前記の条件をポジティブに捉え、4時間だからこそ『勝利』が見えると確信していました。

山口選手は予選での好調をそのままに果敢なアタックを見せます。

27LAP後、Cドライバー樺田選手にドライバーチェンジ。素早いドライバーチェンジによりピットでの遅れは一切ありませんでした。もちろんタイヤは無交換。この時点にて表彰台をかけた戦いが見えていました。

ピットもその希望に沸き立ちました。樺田選手には猛追と確実なドライビングがかせられました。

3人のタイヤマネジメント、ドライビング、すべてが相成って猛烈なバトルの末、0.1秒差にて3位フィニッシュ。優勝も狙えそうなポジションにおり、今後も楽しみなチームにしあげりました。

1:CarNO.19 BRP☆HYPER ECU C72駆動屋FFC 106LAP 4h00'28.296 BEST TIME: 2'10.425

2:CarNO.36 エンドレス アドバン トラストVitz 104LAP 4h01'25.784 BEST TIME:2'12.753

3:CarNO.55 吉田山工房N京都Vitz 104LAP 4h01'25.821 BEST TIME:2'14.017

3:CarNO.55 吉田山工房N京都Vitz 104LAP 4h01'25.821 BEST TIME:2'14.017



## ■ レース後コメント

## ◆星名 功一代表

初参戦となりました"吉田山工房 N京都 Vitz" ですが、まずは参戦にあたって多くの方のご協力を頂きましたことをチームを代表しましてお礼申し上げます。少ない準備期間の中で、VWレースで経験豊富な岩谷選手、Vitzワンメイクレースでの経験と実績で本領発揮となった山口選手と樺田選手、3名のドライバー自身のスキルの高さ、田ヶ原選手と長年 Vitzレースを盛り上げている川崎メカニックのマネジメント力が初参戦とは思えないほど安定感のあるチームになっていたのが印象的でした。決勝はマシンの特徴を活かして燃費を稼ぐ走りでもっと上位を狙う作戦が的中し、ゴールでは2番手とコンマ1秒差で惜しくも3番手となりましたが、見事表彰台をGETできました。レースとなるとどうしてもタイムの速いクラスばかり注目が集まりますが、モータースポーツを楽しむという点ではST-5クラスに"吉田山工房 N京都 Vitz"として参戦させて頂き、初参戦・表彰台という結果は非常に大きな1歩だったと思います。

今後もしろいろな形で"AS Racing"はモータースポーツ界を盛り上げていきますので、どうぞ応援の程宜しくお願い致します。

## ◆アドバイザー 田ヶ原 章蔵

今回この55号車のチームにご協力頂きました多くのスポンサー様、関係者様には心よりお礼を申し上げます。このチームを初期から段取りをさせてもらい本当にみんなのやる気が伝わるとても良いチームになったと思います。川崎メカがしっかり車を作って行ってくれているので安心ですし今後の活躍に期待出来るデビュー表彰台と・・・2位と0.1秒差??とかスプリントレースでもなかなかない展開に本当にドライバー諸君も頑張ったと思います。今後とも55号車のチームの応援を宜しくお願い申し上げます。

## ◆岩谷 昇選手

富士のレース、無事完走する事が出来ました。

結果は、デビュー戦で表彰台を獲得する事が出来ました。レースをサポートして下さったチームと車両を準備して下さったメカニック、応援して下さった、皆様のおかげだと思います。

2PIT、タイヤ無交換の作戦もよく、自分もペースを守りベストを尽くせたと思います。

今後の課題は、ストレートスピード次戦までにも改善されるとの事ですので、さらに上位入賞を狙えると信じています、応援、宜しくお願い致します。

## ◆山口 コーイチ選手

まず、始めに関係者の皆様&スタッフの皆様、そして応援して下さった皆様本当にありがとうございました&お疲れ様でした。55号車はデビュー戦で戦闘力不足でしたが・・・少ない時間でここまでマシンを仕上げてくれた川崎メカニックのお陰で素晴らしいデビューを果たす事が出来ました。そして、不慣れな僕にとっても親切にしてく下さった AS Racing のスタッフの皆様ご迷惑をかけました。自身初のスーパー耐久レース参戦で自分なりに上手くこなせた感じでしたが・・・関係者様、応援してくれた皆様、全ての皆様の協力があつてこそ上手くこなせたのだと思っております。

今回の、デビューレースで応援してくれた皆様、関係者の皆様の力の強さを感じさせてもらえた貴重なデビューレースだったと思います。皆様の力があつてこそこの結果。次戦にも生かせる様に日々努力と感謝を忘れず頑張ります。 応援本当にありがとうございました。

◆樺田 祐司選手

今回、ASレーシングチームの一員となり、スーパー耐久レース ST-5 クラス 吉田山工房ネッツ京都 Vitz で第2戦富士に参戦出来たことを大変嬉しく思っております。

関係者各位様、本当にありがとうございます。スーパー耐久デビュー戦となりました、第2戦の富士ですがなんと3位！デビュー戦にて表彰台と、上出来の結果となりました。これもチームスタッフさん、メカさん、岩谷選手、山口選手の頑張りがこの結果に結びついたと思っています。僕自身、富士に関しては走行経験も少なく、あまり得意とはいえないサーキットですし、また正直言いまして1時間以上の長時間走行が体力的に自信がなかったのも事実でした。でも第2戦富士のレースを終えてみて、そういうことも吹っ飛ばすほどの手ごたえを感じましたし、本当に楽しく走ることが出来ました。

ということで、次回第3戦岡山では今回以上の成績も期待できるのでは・・・と、今から楽しみにしています。応援どうぞよろしくお願い致します。

